

杉野小学校と木之本小学校
杉野中学校と木之本中学校が統合
新「木之本小学校」
新「木之本中学校」の誕生

木之本地域では、新しい「木之本小学校」と新しい「木之本中学校」がスタートします。

昭和40年まで、杉野の校区内には土倉鉱山がありました。しかし、閉鉱とともに一時600人を超えた子どもの数も減り続け、子どもたちにより良い教育環境を整えるため、地域との協議を重ねて統合に踏み出しました。

統合後は、より多くの仲間や先生との関わりを通して、子どもたちが活発に意見を交わし、集団の中で切磋琢磨し合いながら、より豊かな学びができるようになります。現在は、杉野の校区と木之本小・中学校の校区との円滑な統合をめざし、地域、保護者、学校で、新しい学校をつくっていく準備や交流を重ねています。

現在の杉野小学校は、昭和4年9月に杉野高等小学校として創立し、今年で90



▲両校の交流の様子

周年を数えます。また、杉野中学校は、昭和40年創立し、54年を迎えました。小中併設校となつてからは小中の連携を進め、地域に根ざした特色ある教育を展開してきました。新しい学校でも杉野の教育活動を生かしながら地域とともにある学校づくりを推進していきます。

施設一体型義務教育学校
『虎姫学園』の開校

『虎姫学園』は、虎姫小学校と虎姫中学校が一つになって、小中一貫教育を行います。「余呉小中学校」に続く県内で2校目となる施設一体型義務教育学校です。

児童数が長期的に減少傾向を示す中で、

○現在、複式学級がある学校
○今後、5年以内に複式学級が想定される学校

について、今後学校をどうしていくか、地域や保護者の皆さんとともに検討していきたい、地域の特色を生かした学校づくりを推進していきます。

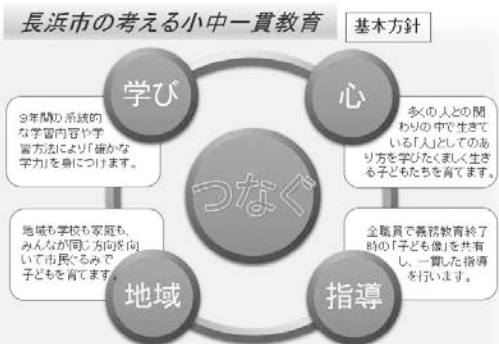
また、魅力ある学校の形の一つとして、義務教育学校(小中一貫教育校)の設置に取り組んでいます。義務教育9年間一貫した教育方針で教育に当たると、教育目標に合った切れ目のない指導ができるようになります。



▲虎姫学園校章

未来に向けた学校づくり

市では、子どもたちにより良い教育環境を提供するために、学校のあり方を考える機会を作っています。



大門村にあった寺院・大聖寺
不動明王を守り続けた古刹

浅井歴史民俗資料館では、大聖寺不動堂(大門町)に伝わる不動明王坐像の修復支援事業として、大聖寺の歴史やそこに伝わった文化財を紹介する企画展を開催します。本展や関連事業を通じ、修復支援の輪を広げていきます。

企画展

【と き】10月29日(火)～12月15日(日)
9時～17時(月・祝日の翌日休館)
【ところ】浅井歴史民俗資料館(大依町)
【入館料】大人300円 小中学生150円
【内容】大聖寺に伝わる仏画や関連する資料の展示等



▲釈迦十六善神像 応永12年(1405年)(大聖寺不動堂蔵)



▲鰐口 永仁4年(1296)大聖寺不動堂蔵(大阪市立美術館寄託)80年ぶりに地元に戻ってきます。

歴史講座「大門村にあった寺院・大聖寺 知られざる歴史と文化財」

【と き】11月10日(日)13時30分
【ところ】浅井図書館2階視聴覚室(大依町)
【受講料】1人500円(あざい歴史の会員は無料)
【定員】50名
【講師】長浜城歴史博物館学芸員 坂口 泰章
【不動明王坐像 特別公開】
普段公開されていない不動明王坐像を特別公開します。
【と き】11月17日(日)・23日(土・祝)11時～12時
【ところ】大聖寺(大門町)
【拝観料】1人500円
【駐車場】大門町草の根広場



▲不動明王坐像

浅井歴史民俗資料館 ☎7410101

未来を創る子どもたち
浅井中学校

あつぱれ祭りを通じて地域とつながる浅井中学生
浅井中学校では、毎年、長浜あざいあつぱれ祭りにボランティアとして参加しています。

20回目となった今年の祭りにはスタッフや踊り子として、約100人の生徒が参加しました。スタッフボランティアは、商工会の出店ブースの手伝いや踊り子への給水の手伝いをしました。踊り子ボランティアは、ステージやストリートでの演舞を通して、祭りを大いに盛り上げました。



▲スタッフボランティアとして給水を行う生徒達

めざす子ども像
一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
一、思いやりのある心のやさしい子
一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

長浜子どものちがい
～わたしたちはちがいます～
一、元気にあいさつをします
一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
一、困っている人がいたら言葉をかけます
一、人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章
～おとなが実践します～
一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
一、長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます



▲踊り子ボランティアとして演舞を披露

浅井中学校では、あつぱれ祭りのボランティア活動を通して、5年前から北海道大学のよさこいサークル「縁」の皆さんとの交流を重ねています。祭りの前日に全校生徒が北大生と共に踊り、その後教室で交流を深めました。祭りの翌日には、約200人の生徒が清掃活動に参加し、祭りの片づけまで手伝うことができました。祭りの実行委員長からは「浅井中生がいないとこの祭りは成り立たない」とも頼りにしている」という言葉もいただきました。

ボランティアに参加した生徒の感想には、「会場に来てくださった人を笑顔にし、会場を盛り上げようと頑張りました」「ボランティアに参加するのは初めてでしたが、

学校・教育関係の情報満載
市教育委員会フェイスブック